



2020年11月25日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ  
代表取締役社長 狩野 仁志  
(JASDAQ・コード3807)  
問い合わせ先：  
取締役管理本部長 松崎 祐之  
電 話 番 号 03(5774)2440 (代表)

(経過開示) バーチャル株主総会の議決権行使システム開発完了に関するお知らせ

株式会社フィスコ (JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社：東京都港区、代表取締役社長：狩野仁志、以下、「フィスコ」) は、2020年7月31日付「バーチャル株主総会の議決権行使、株主優待、ステーキングアプリケーション開発に着手」

[https://www.fisco.co.jp/uploads/20200731\\_fisco\\_pr.pdf](https://www.fisco.co.jp/uploads/20200731_fisco_pr.pdf) にて公表しておりましたバーチャル株主総会の議決権行使につきまして、開発が完了いたしましたのでお知らせいたします。

ハイブリッド出席型バーチャル株主総会の実現に必要とされる株主様向けの議決権行使管理システムにおいては、改ざん不可能とされるブロックチェーン技術を用いて開発を行い、株主様からの質問受付や議決権投票ができる機能を搭載し、リアル出席型株主総会と変わらないクオリティでのライブ配信を提供致します。株主総会開催がピークとなる3月～6月末に向けてテスト運用を実施し、サービス利用実績に結びつけて参ります。

▼ 議決権行使システム機能概要

- ・株主総会情報および議案の設定
- ・株主様一人一人の ID パスワード設定
- ・バーチャル参加株主様からの質問および動議等の受付
- ・株主総会のライブ配信
- ・議決権行使結果の集計 (事前集計および当日集計)

なお、株主総会の「完全オンライン開催」に向けて関連法制の改訂を含め、成長戦略会議において議論されているという報道にもございました通り、バーチャル株主総会の開催

への関心も高まり、かつ、企業が積極的に取り組めるよう環境整備が進むものと考えております。

引き続き、フィスココイン（FSCC）のステーキングアプリケーションの開発を行っており、順次リリースを予定しております。

フィスコでは 今後も FSCC の利用範囲の拡大と、DApps（Decentralized applications：非中央集権・分散管理型のアプリケーション、※1）、DeFi（Decentralized Finance：分散金融/分散型金融、※2）の概念を活用した新規ビジネスの創造、FSCC の価値向上を通じてフィスコの企業価値の向上を目指してまいります。

※1：Decentralized applications の略語。ブロックチェーンを利用した管理者不在の分散型アプリケーションです。

※2：Decentralized Finance の略語。金融分野における DApps。非中央集権の暗号資産交換所や、デリバティブ、レンディング等のサービスがあり、最も注目される分野の一つです。

本件による当期の連結業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には 速やかにお知らせいたします。

以 上